

工業統計調査でみる鳥取県

～最近10年間の本県製造業の状況～

工業統計調査は、我が国の工業(製造業)の実態を明らかにすることを目的に、毎年実施しています。

従業者数と製造品出荷額等の推移 (平成22年～令和2年調査)

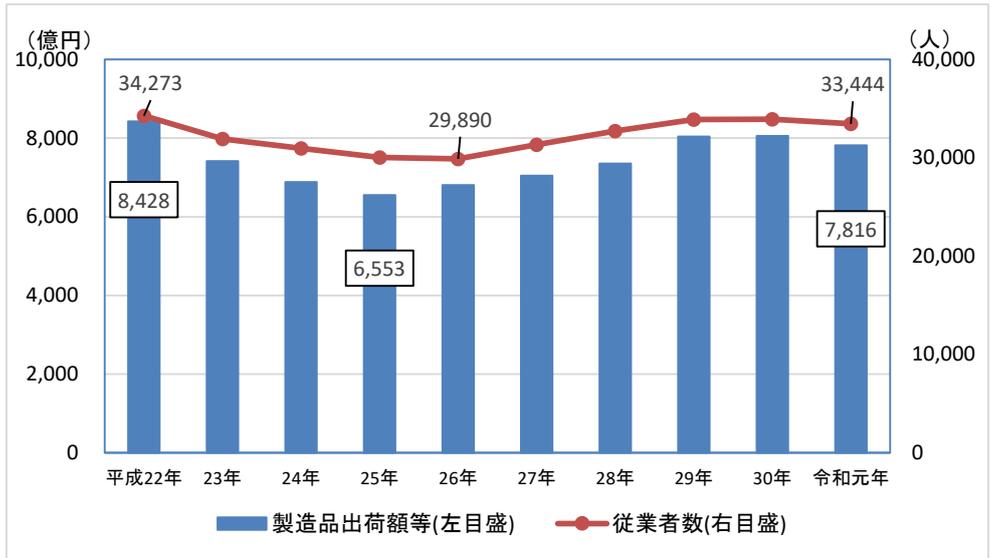
従業者4人以上の製造事業所の従業者数と製造品出荷額等について、平成22年調査から10年間の推移をみると、右表のとおりになります。

いずれも、平成22年以降は減少していましたが、従業者数は平成26年、製造品出荷額等は平成25年に下げ止まり、その後は増加が続いていました。

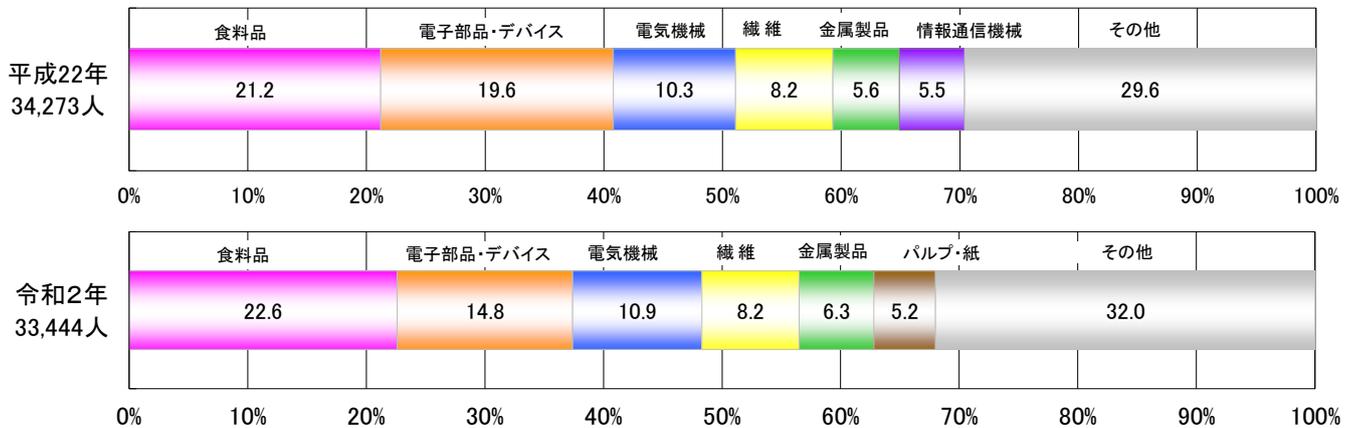
しかし、令和元年は従業者数、製造品出荷額等ともに、前年に比べて減少しました。

・従業者数は、平成23年は24年2月1日現在、平成27年以降は翌年6月1日現在、その他の年次は12月31日現在の数値です。

・製造品出荷額等は、各年1年間の数値です。

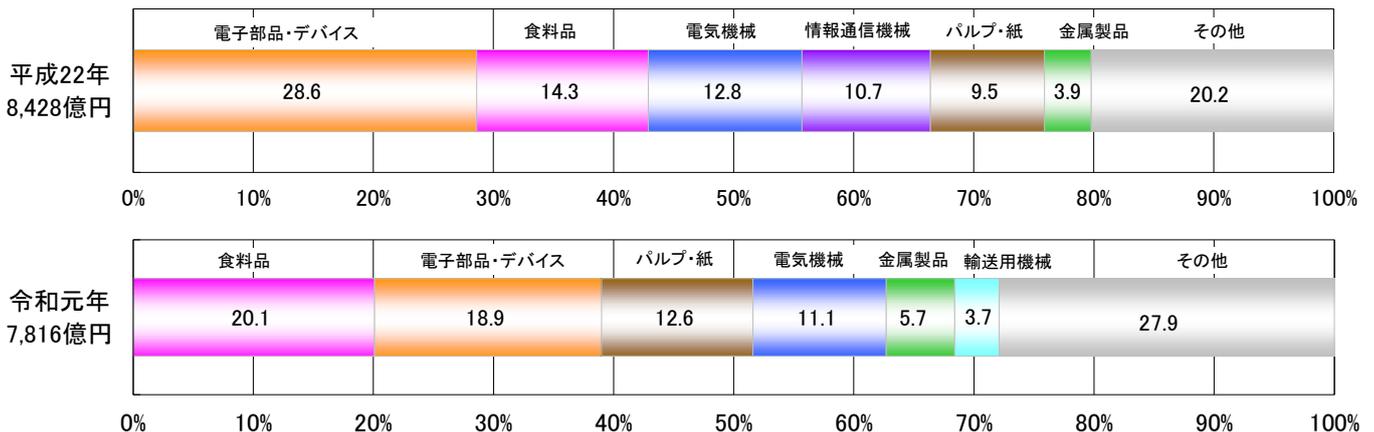


産業中分類別従業者数の構成比



平成22年、令和2年で産業中分類別従業者数を比較すると、両年ともに大きい順に「食料品」・「電子部品・デバイス」・「電気機械」・「繊維」・「金属製品」と、第1位から第5位まで同じ順位となっています。

産業中分類別製造品出荷額等の構成比



平成22年の産業中分類別製造品出荷額等は、大きい順に「電子部品・デバイス」・「食料品」・「電気機械」・「情報通信機械」・「パルプ・紙」となっています。また、令和元年は、大きい順に「食料品」・「電子部品・デバイス」・「パルプ・紙」・「電気機械」・「金属製品」と順位が入れ替わっています。このことから、本県製造業の構造が変化していることが分かります。